

職員団体との意見交換会の議事要旨

(開催日時)

令和3年3月29日(月) 15:00~16:00(60分間)

(開催場所)

札幌第1合同庁舎10階共用1・2号会議室

(出席者)

当局側(北海道開発局)

松浦 明(開発監理部長)、池下 一文(開発監理部次長)、
八木 俊樹(総務課長)、今野 等(人事課長)、
村津 敏紀(職員課長)、山口 敬太郎(職員課長補佐)

職員団体側(全北海道開発局労働組合)

上山 新吾(書記長)、齋藤 航太郎(書記次長)、
横内 智子(特別中央執行委員)

(議題)

2021年統一要求について

(要旨)

<組織・級別定数>

(職員団体) 行(一)職員の4級・5級枠の拡大、行(二)職員の在給年数の緩和、部
下数制限の撤廃・緩和、一定の号俸・経験年数での上位級昇格を求める。

(当局) 級別定数の改善については、職員の在職状況・年齢構成の変化等を踏まえ
改善が図られるよう従前から対応してきたところであり、引き続き、本省と
も連携して当局の実情を説明し、要望していきたい。

昇格については、職務、職責等を総合的に判断して、定められた級別定数
の範囲内で行っているところである。

<再任用>

(職員団体) 再任用短時間勤務者が超過勤務や休日出勤をしている実態があるので、改
善してもらいたい。

(当局) 恒常的に超過勤務を命じている実態は把握していないが、勤務時間に見合
った業務量となるよう管理者を指導していきたい。

<権利>

(職員団体) 女性の登用について、男女比があるかのような採用比率にも疑問がある。
また、管理職の女性は極端に少ない状況にあることから、もっと積極的に女
性の管理職を増やすべきである。

(当局) 今後も、女性の採用とポストに求められる能力と意欲のある職員の登用に
積極的に取り組んでいきたい。

<テレワーク>

(職員団体) テレワークを行うことによる問題点について、早急に改善してもらいたい。

(当局) 職員からの意見等を踏まえ、問題点の解消に努め、テレワークの推進に積

極的に取り組んでいきたい。

<事業執行>

(職員団体) 業務推進方針について、管理者の責任において、次年度の業務の内容・体制・進め方がわかるように作成し、職員にしっかり説明するよう求める。

(当局) 管理者に対し、職員と情報の共有を図り、良好な意思疎通の下に円滑な業務運営に努めるよう指導しているところである。

<賃金>

(職員団体) 職員の士気にも大きく影響するため、あらゆる関係機関に対し、賃金水準の確保を働きかけるなど、取り得る最大限の努力を求める。

(当局) 公務員の給与は、人事院の勧告をもとに国会において決定されるものであり、当局の権限の及ぶところではないが、職員の勤務条件に関わるものであることから、当局としても重大な関心を持って、引き続き情報収集に努めていきたい。

※文責は北海道開発局当局(相手方未確認。今後修正があり得る)